



図 1-1 随意運動をつかさどる経路

[水野美邦：神経疾患理解に役立つ解剖・生理学的知識，篠原幸人，水野美邦（編）：脳神経疾患のみかた ABC，p.3，日本医師会発行，医学書院発売，1993 より改変]

神経から入る感覚線維の通り道(図 1-2)，それと 12 対の脳神経とそれらの脳からの派出部位である(495 頁，図 20-13 参照)。このくらいの知識があれば，患者さんの示す神経症候からどこに責任病巣があるかを推定するプロセス，すなわち局所診断は謎解きのようなおもしろささえもって

くるのである。少しおもしろさがわかってきたら大脳基底核や小脳が錐体路系とどうからんでいるかなどを勉強していくとよいと思う。

3. 神経学の学び方，本書の構成

初心者が神経学を学ぶのに神経解剖の復習から